

[ホーム](#) > [組織でさがす](#) > [埋蔵文化財調査センター](#) > 平成27年度 お知らせ

平成27年度 お知らせ

掲載日:2015年12月10日更新

お知らせ

埋蔵文化財調査センターが関わる展覧会などを紹介していきます。

3月1日更新 4月2日(土曜日)から4月17日(日曜日)まで、当センターにて「春の特別公開2016」を開催します。国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」を特別に公開します。

調査研究課の橋本です。

4月2日(土曜日)から4月17日(日曜日)まで、当センターにて「春の特別公開2016」を開催します。期間中は、国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」2,028点(平成24年9月6日指定)の中から赤彩土器・壺形土器等4点を特別に展示します。

また、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターによる新出土品展(「やとみ新発見展」(しんはっけんでん))も同時開催されます。

4月2日(土曜日)・4月3日(日曜日)の特別開館日には、火おこし体験や輪投げ等のイベントを実施します。

入館料並びに火おこし体験等はすべて無料です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

〔日時〕

特別公開

4月2日(土曜日)から4月17日(日曜日)まで 午前9時から午後4時まで

*4月9日(土曜日)・10日(日曜日)は休館です。

イベント

4月2日(土曜日) 午後1時から午後4時まで

4月3日(日曜日) 午前9時から午後4時まで



【「春の特別公開2016」展示品 「国指定重要文化財『愛知県朝日遺跡出土品』】



【昨年の様子】

愛知県埋蔵文化財調査センター・愛知県埋蔵文化財センター

春の特別公開2016・「やとみ新発見展」

国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の特別公開と平成28年度埋蔵文化財新出土品展を開催します。

- ◇開催期間 4月2日(土)から17日(日)まで
*休館日 4月9日(土)・10日(日)
- ◇開館時間 午前9時から午後4時まで
*入館無料

○重要文化財特別公開（2階展示ロビー）

国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」2,028点の中からよりすぐりの優品を展示します。

○平成28年度埋蔵文化財新出土品展（2階収蔵庫）

平成27年度の発掘調査で発見された土器、石器などを展示します。
*豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡（豊田市）
設楽ダム関連遺跡（北設楽郡設楽町）等

☆☆お楽しみコーナーもあるよ☆☆

日時 4月2日(土) 13:00~16:00
4月3日(日) 9:00~16:00
場所 1階入り口 *事前申込不要 参加費無料

○火おこし体験

昔の人々の生活を体験しよう！
うまく火をおこせた人には、「火おこし名人認定証」をプレゼント!!

◇◇◇◇他にも楽しいイベントがあります◇◇◇◇

会場アクセス

- 近鉄弥富駅から徒歩 15分
- JR・名鉄弥富駅から徒歩 15分
- 4月2日(土)・3日(日)にお車でご来場の際は、「やとみ春まつり」駐車場をご利用ください。

【お問い合わせ先】

愛知県埋蔵文化財調査センター（調査研究課）
〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
TEL:0567-67-4164(平日 9:00~17:00の間)
E-mail: maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp



【案内ポスター】

[「春の特別公開2016」案内ポスター \[PDFファイル/384KB\]](#)

2月19日更新 当センターで収蔵・保管している資料が、愛知県陶磁美術館で展示されます。

調査研究課の橋本です。

愛知県陶磁美術館において、常設展「もっと伝えたい、愛知のやきもの」が開催されます。(会期:平成28年2月27日(土曜日)から3月31日(木曜日)まで。ただし、常設展として4月1日(金曜日)以降も展示継続予定。)

この常設展では、愛知県の陶磁文化にスポットを当て、南館1階展示室では「愛知のやきもの『今』」として、現在の瀬戸や常滑、高浜、名古屋周辺などでつくられている多種多様な愛知のやきものが紹介されています。南館2階展示室では「愛知のやきもの1万年」として、過去にさかのぼって、縄文時代・弥生時代から江戸・明治時代までの長大な時間的な広がりの中で、愛知の陶磁史を紹介されています。

当センターで収蔵・保管している資料からは、次の11遺跡計42点の出土品が展示されます。この機会に、ぜひご覧ください。

●展示資料関連遺跡

牛牧遺跡・志賀公園遺跡(名古屋市)、八王子遺跡・吉野遺跡・長谷口遺跡(瀬戸市)、権現山遺跡・岩倉城遺跡(岩倉市)、川田遺跡(愛西市)、朝日遺跡(清須市・名古屋市)、大淵遺跡(あま市)、東光寺遺跡(額田郡幸田町)

●会場

愛知県陶磁美術館 南館

所在地 愛知県瀬戸市南山口町234番地

開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで

* 入館は閉館の30分前まで

* 2月27日(土曜日)は、開会式のため午前11時から



休館日 毎週月曜日(ただし、月曜日が休日の場合は、その直後の平日)

左: 岩倉城遺跡(岩倉市)出土の土器(古墳時代初期) *一部展示品ではないものもあります。

右: 川田遺跡(愛西市)出土の朝顔形円筒埴輪(古墳時代中期)

(写真提供:愛知県埋蔵文化財センター)



案内ポスター

1月22日更新 当センターで収蔵・保管している資料が、鈴鹿市考古博物館で展示されています。

調査研究課の構本です。

鈴鹿市考古博物館では、特別展「鹿—『鹿と古代人』その後—」が開催されています。(開催期間:平成28年1月23日(土曜日)から3月6日(日曜日)まで)

この特別展では、鈴鹿の地名の由来で鈴鹿市のマスコットにもなっている「鹿」をテーマとして、古代人と「鹿」とのかかわりについて紹介されています。

当センターで収蔵・保管している資料のうち、次の4遺跡から計15点の出土品が展示されています。この機会に、ぜひご覧ください。

●展示資料関連遺跡

朝日遺跡(清須市・名古屋市)、一色青海遺跡(稲沢市)、松崎遺跡・上浜田遺跡(東海市)

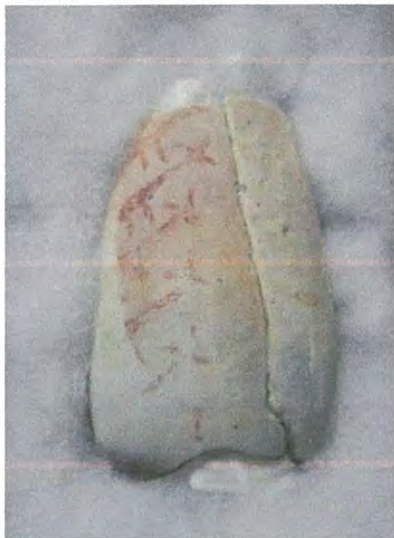
●会場

鈴鹿市考古博物館

所在地 三重県鈴鹿市国分町224番地

開館時間 午前9時から午後5時まで

休館日 月曜日、第三火曜日、国民の祝日の翌日(その日が日曜日を除く)



【左:一色青海遺跡出土の瓢形壺 右:松崎遺跡出土の鹿角製刀子柄】



【案内ポスター】

1月7日更新 当センターで収蔵・保管している資料が、高浜市やきもの里から美術館で展示されます。

調査研究課の構本です。

高浜市やきもの里から美術館において、開館20周年記念特別展『安土・桃山の城郭革命—信長・秀吉・家康と金箔瓦—』が開催されます。(開催期間:平成28年1月23日(土曜日)から3月6日(日曜日)まで)

この記念特別展では、「安土・桃山」という時代を、その後の瓦発展の基盤ともなった『城』をキーワードに、金箔瓦、そしてやきものや絵画などの美術工芸品や諸資料などを通じてご紹介していくことを開催趣旨とされています。

当センターで収蔵・保管している資料のうち、次の2遺跡から計20点の出土品が展示されます。この機会に、ぜひご覧ください。

●展示資料関連遺跡

清洲城下町遺跡(清須市)、名古屋城三の丸遺跡(名古屋市)

●会場

高浜市やきもの里から美術館

所在地 愛知県高浜市青木町九丁目6番地18

開館時間 午前9時から午後5時まで(観覧券の販売は午後4時30分まで)

休館日 月曜日



【清洲城下町遺跡出土品 金箔五木瓜紋飾瓦】



【案内ポスター】

1月4日更新 清洲城下町遺跡から出土した「清須城の瓦」を展示しています。

調査研究課の橋本です。

当センターでは、(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターの協力を得て、収蔵品の展示を行っています。

下の(写真1)は、清洲城下町遺跡(清須市)から出土した「清須城の丸瓦」です。この丸瓦内面には「天正十四」の銘が刻まれています。小牧長久手の戦いの後、織田信長の次男信雄(のぶかつ)は清須を居城としますが、天正地震(天正13年11月29日)で大きな被害を受け、天正14年(1586)に大改修を行いました。

この他に、清洲城下町遺跡の宿場町の町屋の跡から出土した江戸時代の各種の焼き物も展示しています。

近くにお越しの際には、ぜひご見学ください。



【(左:写真1)清須城の丸瓦 (右:写真2)清洲城下町遺跡出土品】